

令和4年度 あげお学びのイノベーション News

上尾市は、文部科学省が示したGIGAスクール構想により、今までの教育実践×最先端のICTで「新たな学び」を創り出す「あげお学びのイノベーション」に取り組んでいます！

「デジタル・シティズンシップ教育」

～デジタルのよき使い手・よきデジタル社会の担い手を目指して～

現在、学習や人と人との交流、遊び、買い物など、様々な場面で日常のデジタル化が進んでいます。一方で、デジタルの使い手としてのモラルや、健康に与える影響についての懸念などの課題も少なくありません。

このような時代を迎えた今、子供たちの学びや生活を支える考え方として、「デジタル・シティズンシップ」が注目されています。「デジタル・シティズンシップ」の理念は、デジタルのよき使い手としてデジタル・テクノロジーを肯定的に活用し、子供たちの自律と問題解決を促すことにあります。子供たちの生活が急速にデジタル化していくのに合わせ、デジタル・シティズンシップ教育の考え方が広がってきています。

今号では、デジタル・シティズンシップ教育で大切にしたいことについて紹介します。

デジタル・シティズンシップ教育で大切にしたいこと

～他律から自律へ～

「自分の生活や学びに役立てるために使うという意識」

○自分の生活や学びをよりよくするために活用するといった意識をもって、デジタル機器を活用したり、情報を選択したりすることが大切です。自分の目的に合った使い方ができているかどうかを、常に振り返ることができるようにします。



「安全・責任は自分の豊かな生活を創るという意識」

○間違った使い方や、不適切な使い方をしたときには、自分自身の生活に影響として現れることが少なくありません。ルールがあるからしないのではなく、安全で豊かな生活を送るためには、すべきではないという判断ができることが大切です。



「情報のやりとりには必ず相手がいるという意識」

○インターネット上で自分が発信する情報には、必ず情報の受け手がいて、様々なところに影響を与えているという意識が大切です。相手のことを考えた行動ができるようになります。



「メディアバランスは自分でコントロールするという意識」

○日常のデジタル化が進む中で、デジタルを活用するスキルだけではなく、デジタルとどう付き合っていくかが大切になります。デジタルが自分の健康や感情に及ぼす影響を理解し、コントロールできるようにします。



こちらも
ご覧ください

GIGA スクール時代のテクノロジーとメディア

～デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化

★本教材シリーズは、子供たちと教員・保護者、そして社会全体で取り組むテーマとして、「デジタル・シティズンシップ」についてともに考えていくことをねらいとして作られています。

出典：経済産業省「未来の教室」STEAM ライブラリー

小・中学生向け (<https://www.steam-library.go.jp/content/132>)

教員・保護者向け (<https://www.steam-library.go.jp/content/134>)



小・中学生向け



教員・保護者向け



— 夢を育み 未来を創る 上尾の教育 —

上尾市教育委員会

